

デュアルユース研究を通してつなげる、つながらる
クロージング・フォーラム

2024年3月20日（水・祝）10：00～15：00

早稲田大学先端生命医科学センター

〒162-0056 東京都新宿区若松町2-2

「デュアルユース研究」とは、社会的観点から用途に懸念が生じ得る科学技術を用いた研究を意味します。

この度のフォーラムでは、本プロジェクト（ReDURC）の成果報告を行いつつ、感染症領域における科学技術の光と影との関係性について考えていきたいと思えます。

【第一部：社会、アート、ガバナンス、職業倫理】

三成 寿作 （京都大学 iPS細胞研究所・特定准教授）

吉澤 剛 （関西学院大学・客員研究員）

四ノ宮 成祥 （防衛医科大学校・学校長）

花木 賢一 （国立感染症研究所・安全実験管理部長）

【第二部：生命倫理、コミュニケーション、科学、公衆衛生】

河原 直人 （九州大学病院・特任講師）

川本 思心 （北海道大学 大学院理学研究院・准教授）

木賀 大介 （早稲田大学 理工学術院・教授）

齋藤 智也 （国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター・センター長）

【第三部：招待講演】

岩崎 秀雄 （早稲田大学 理工学術院・教授）

茜 灯里 （文筆家／科学ジャーナリスト）

■参加費：無料

■定員：50名（要申込）

■参加登録：<https://forms.gle/kS15AxbYZ2Ems2eJ8>

■申込期限：2024年3月4日（月）正午

※応募者多数の場合は、抽選となる可能性があります。

※参加可否は3月6日（水）にメールでお知らせします。

■主催：

厚生労働行政推進調査事業費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）

「新型コロナウイルス感染症を踏まえたデュアルユース性が懸念される

公衆衛生研究の国際動向及び倫理規範・監督体制確立のための研究」(ReDURC)



■プログラム

第一部：社会、アート、ガバナンス、職業倫理

10:00～11:00

発表者：

三成 寿作 （京都大学 iPS細胞研究所・特定准教授）

吉澤 剛 （関西学院大学・客員研究員）

四ノ宮 成祥 （防衛医科大学校・学校長）

花木 賢一 （国立感染症研究所・安全実験管理部長）

◇11:00～11:15 ネットワーキング

第二部：生命倫理、コミュニケーション、科学、公衆衛生

11:15～12:15

発表者：

河原 直人 （九州大学病院・特任講師）

川本 思心 （北海道大学 大学院理学研究院・准教授）

木賀 大介 （早稲田大学 理工学術院・教授）

齋藤 智也 （国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター・センター長）

◇12:15～12:30 ネットワーキング

第三部：招待講演

13:30～14:00

発表者：

岩崎 秀雄 （早稲田大学 理工学術院・教授）

茜 灯里 （文筆家／科学ジャーナリスト）

◇14:00～15:00 パネルディスカッション

■お問い合わせ：

京都大学 iPS細胞研究所 上廣倫理研究部門 ReDURCプロジェクト担当

E-mail : [redurc-pj\[at\]mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:redurc-pj@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

（[at]をアットマークに置き換えてください）